



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

発表! 第28回

杉野十佐一賞!

2024

1

決定！第28回 杉野十佐一賞！ 4

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし 24

会員雑詠集「無人駅」 27

■例月句会結果■

おかじょうき川柳社 川柳忘年会 2023 39

十和田たてがみ川柳会 11月句会報 45

Infomation 48～

杉野十佐一賞

題「雨」

すぎのときいち▼昭和26年におかじょうき川柳社を設立。没年の昭和54年まで初代代表として多くの作家を育成。永年にわたる川上三太郎との親交から童飛岬の三太郎句碑建立に尽力。
【集計方法】点数は、各選者の特選を5点、秀逸3点、佳作1点とし、同点の場合、より高い位に選ばれているものが上位。

■第28回杉野十佐一賞 大賞作品■

〔15点（特） 由紀子・ちえみ（秀） れいこ（佳） 政二・むさし〕

ばあちゃんが杖でつついて降らす雨

峯裕見子

（滋賀県大津市）



【受賞の言葉】

コロナ禍や家人の病気などで、これまでと同じように川柳と向き合うことが、私には難しい数年が過ぎました。それでも、なぜか十佐一賞だけは作品を送ろうと思っていました。賞品の旨いホタテ貝につられていたのかもしれませんが、無視のできないものが十佐一賞にはあるのではないかと思っています。今回の私の、へんてこな句を選んでくださった選者の、へんてこ加減に感謝をいたします。「もう少し書きなさい、がんばれ」と背中を押していただいたと思っております。ありがとうございました。

ばあちゃんが
杖でつついて
降らす雨

裕見子

【準賞・12点】

(秀) れいこ・茂喜・むさし (佳) 政二・由紀子・ちえみ

愛媛県 吉松澄子

【12点】

(秀) 政二・由紀子・茂喜 (佳) れいこ・ちえみ・むさし

静岡県 米山明日歌

【9点】

(秀) 政二・ちえみ (佳) れいこ・由紀子・茂喜

青森県 守田啓子

【8点】

(特) 政二 (佳) れいこ・由紀子・むさし

島根県 石橋芳山

(秀) ちえみ・茂喜 (佳) 政二・由紀子

愛媛県 村山浩吉

(秀) 政二・由紀子 (佳) れいこ・ちえみ

大阪府 雨森茂喜

【7点】

(秀) ちえみ・茂喜 (佳) 由紀子

東京都 嫉妬林檎

(佳) 政二・れいこ・由紀子・ちえみ・茂喜

秋田県 赤石ゆう

【4点】

(秀) 由紀子 (佳) ちえみ

青森県 まみどり

(秀) 政二 (佳) ちえみ

京都府 和田洋子

(秀) むさし (佳) 由紀子

三重県 西脇祥貴

(秀) ちえみ (佳) 茂喜

秋田県 佐渡真紀子

(秀) れいこ (佳) 由紀子

高知県 小野善江

(秀) むさし (佳) れいこ

青森県 葉 閑女

(秀) 茂喜 (佳) むさし

大阪府 浅井ゆず

(佳) 政二・ちえみ・茂喜・むさし

滋賀県 中島順子

(佳) 政二・れいこ・ちえみ・むさし

福井県 みつ木もも花

(佳) れいこ・由紀子・ちえみ・茂喜

大阪府 まつりべきん

【6点】

(特) 茂喜 (佳) ちえみ

愛知県 青砥和子

(特) れいこ (佳) ちえみ

兵庫県 八上桐子

(秀) 由紀子 (佳) ちえみ・茂喜・むさし

長野県 西沢葉火

(秀) むさし (佳) 政二・由紀子・ちえみ

徳島県 徳長 怜

(秀) ちえみ (佳) れいこ・由紀子・茂喜

北海道 河野潤々

【5点】

(特) むさし

大阪府 宮井いずみ

(秀) れいこ (佳) 茂喜・むさし

鳥取県 斉尾くにこ

(秀) 由紀子 (佳) 政二・れいこ

大阪府 雨森茂喜

(秀) 政二 (佳) れいこ・ちえみ

大阪府 浅井ゆず

(佳) 政二・由紀子・ちえみ・茂喜・むさし

青森県 熊谷冬鼓

(佳) れいこ・由紀子・ちえみ・むさし

静岡県 匂 ノ 一

【3点】

(秀) むさし

高知県 大野美恵

(秀) れいこ

神奈川県 相原あやめ

(佳) 政二・れいこ・むさし

青森県 まみどり

(佳) 政二・れいこ・由紀子

愛媛県 郷田みや

(佳) れいこ・由紀子・茂喜

東京都 飯島章友

(佳) 政二・茂喜・むさし

奈良県 ひとり静

(佳) 政二・ちえみ・茂喜

秋田県 田久保亜蘭

(佳) 政二・れいこ・むさし

大阪府 高杉 力

(佳) 政二・由紀子・ちえみ

京都府 山本知佳子

(佳) れいこ・由紀子・茂喜

青森県 大黒谷サチエ

(佳) 政二・ちえみ・むさし
雨漏りがするのでおてやわらかにね

愛知県 今村美根子

【2点】

(佳) 由紀子・茂喜

諸事情があるなら雨になりなさい

愛媛県 村山浩吉

(佳) 政二・ちえみ
密室へ時雨をつれてきたんだね

青森県 沢田百合子

(佳) 政二・れいこ
母のいる辺りが雨の境界線

兵庫県 筏井加代子

(佳) ちえみ・むさし
誰の雨だろう炎上しちゃってる

千葉県 尾崎良仁

(佳) 政二・由紀子
こうなると分かっています雨と雨

愛媛県 郷田みや

(佳) れいこ・茂喜
にわか雨キユキユツとしまるひらめ筋

青森県 佐藤寿見子

(佳) ちえみ・むさし
雨粒の全てに般若波羅蜜多

福岡県 もりともみち

(佳) 由紀子・茂喜
ラ・フランスを齧る雨月物語

京都府 岩根 彰子

(佳) れいこ・由紀子
すこしずつ空をずらしているトンビ

静岡県 句 ノ 一

(佳) れいこ・むさし
悪役も虹になつてるところでしょう

秋田県 佐藤 春子

(佳) 政二・由紀子
ミシン目の雨 家で、家で死にたい

兵庫県 八上 桐子

(佳) れいこ・むさし
雨音も星も担いで行きましょう

東京都 はるのあきこ

(佳) 政二・れいこ
降りつづく雨もつぎつぎ違う雨

宮崎県 てつろう

(佳) ちえみ・茂喜
雨男という仕事を持つている

神奈川県 下村 修

(佳) 茂喜・むさし
足跡を残して雨が生えている

長野県 西沢 葉火

(佳) ちえみ・茂喜
黄金の雨をダナエと分かち合う

兵庫県 黒田 弥生

(佳) れいこ・ちえみ
家族写真に耳を寄せれば雨の音

東京都 小沢 史

(佳) れいこ・茂喜
降る雨は左耳にて沼になる

兵庫県 筏井加代子

(佳) 由紀子・茂喜
へこんでるお臍ヘラテン系の雨

鳥取県 斉尾くにこ

(佳) 由紀子・ちえみ
アメフラシ王に来世はなる絶対

東京都 飯島 章友

(佳) 政二・茂喜
いっぱい雨を見てきたネコの潤んだ目

青森県 笹田 かなえ

(佳) 茂喜・むさし
雨の午後二時四十分のドーナツ屋

愛知県 猫田 千恵子

(佳) れいこ・むさし
どしや降りで終わる交響曲五番

(佳) 政二・れいこ
思い出もあるし雨でもだいじょうぶ

(佳) れいこ・ちえみ
外は雨多めに付けるハッシュタグ

(佳) 茂喜・むさし
ヴィーナスの右手は雨傘と消えた

(佳) れいこ・由紀子
雨あめ雨ワタシ太平洋になる

(佳) 由紀子・茂喜
ファンクシヨンキーの七番に雨粒が

(佳) 政二・むさし
しあわせな人のフリする雨宿り

(佳) れいこ・むさし
祈らない祈り想定外の雨

(佳) ちえみ・むさし
雨が降る海の記憶を失くさぬように

(佳) ちえみ・むさし
雨はもう覚悟決めてる金閣寺

(佳) ちえみ・むさし
それはさておき姉は雨降りお月さま

(佳) れいこ・ちえみ
終盤のところどころの雨やどり

(佳) れいこ・ちえみ
七人の活字中毒雨模様

(佳) 茂喜・むさし
雨だれをコピペしているアメフラシ

(佳) ちえみ・むさし
仇討ちの決め手はにわか雨でした

(佳) 由紀子・むさし
今日わたし雨冠の下にいる

(佳) 政二・茂喜
このままになるかもしれぬ雨の音

(佳) れいこ・むさし
古傷も感情線も雨催い

(佳) 政二・むさし
妻である時間の長い長い雨

(佳) 政二・茂喜
置き去りにされた花柄アンブレラ

(佳) ちえみ・むさし
もどかしい下唇のあまもよい

(佳) 由紀子・ちえみ
雨の夜 笑うセールスマン

(佳) 政二・由紀子
雨脚を聞いている障子閉じたまま

秋田県 妹尾 凜

大阪府 岸井ふさゑ

東京都 橋元デジタル

大阪府 小原 由佳

滋賀県 重森 恒雄

青森県 きさらぎ彼句吾

青森県 滋野 さち

青森県 熊谷 冬鼓

京都府 河村 啓子

愛媛県 大西 進

※一点句は誌面の都合上、割愛させていただきます。



徳永政二選

とくながせいじ／滋賀県・「びわこ番傘川柳会」所属

【佳作】

いつも晴れていた 母さんの手の平
雨漏りがするのでおてやわらかにね
オブションで柔らかい雨ついでくる
置き去りにされた花柄アンブレラ
雨脚を聞いてる障子閉じたまま
このままになるかもしれない雨の音
すれ違う雨の匂いのする人と
いっぱい雨を見てきたネコの潤んだ目
妻である時間の長い長い雨
きのうまで奥に雨雲棲んでいた
連れですとふと番傘に目を流す
雨になる前の裸の水を見た
くわしくはわかりませんが雨ふらし
三日月も雷雨も仲間水たまり
厨房にいまも女の長い雨
降りつづく雨もつぎつぎ違う雨
水たまりに雨の終わりをたしかめて

静岡県	米山明日歌
愛知県	今村美根子
大阪府	高杉 力
青森県	熊谷冬鼓
秋田県	斎藤泰子
滋賀県	重森恒雄
大阪府	笠嶋恵美子
青森県	笹田かなえ
青森県	滋野さち
京都府	山本知佳子
秋田県	佐藤春子
島根県	石橋芳山
福岡県	柴田美都
愛知県	三好光明
青森県	吉見恵子
宮崎県	てつろう
京都府	藤本花枝

そもその雨 100グラム下さい
しあわせな人のフリする雨宿り
思い出もあるし雨でもだいじょうぶ
広重が雨を豆腐で供養する
黒アゲハ雨冠を置いてった
くちびるが あめ と動いて雨になる
味方にも敵にもなれる雨である
こうなると分かっていたら雨と雨
ただ降っただけなのに怒られた
つぎつぎと雨を産んでは困らせる
ミシン目の雨 家で、家で死にたい
泣きながら地上に落ちた黒い雨
降りやまぬ霧雨 母の子であつて
雨垂れに沿って生きると決めた猫
母のいる辺りが雨の境界線
家系図はいつから時雨れ始めたか
この匂いやつぱり母は雨だった
ばあちゃんが杖でつついて降らす雨

大阪府	雨森茂喜
青森県	須藤しのすけ
秋田県	斎藤泰子
東京都	森 砂季
青森県	熊谷冬鼓
徳島県	徳長 伶
青森県	渡邊こあき
愛媛県	郷田みや
秋田県	田久保亜蘭
秋田県	赤石ゆう
兵庫県	八上桐子
京都府	西山竹里
千葉県	日下部敦世
京都府	蟹口和枝
兵庫県	筏井加代子
奈良県	ひとり静
東京都	小沢 史
滋賀県	峯 裕見子

雨の日はわたしの猫になりなさい
雨ですが仲間に入れてくれますか
密室へ時雨をつれてきたんだね
ある日ふと雨を被つてみたくなる
一雨のその一粒がボクだった
あした降る雨は時給でいいですか
土砂降りになったら笑う時間です
雨するか雨しないかを決めなさい
象は病んで冷たい雨を待っている

滋賀県	中島順子
福井県	みつ木もも花
青森県	沢田百合子
愛媛県	郷田みや
愛知県	松長 一步
愛媛県	村山浩吉
青森県	まみどり
愛媛県	吉松澄子
滋賀県	峯 裕見子

【秀逸】
日曜の雨には頭からはいる
雨粒のタテヨコ測る仕事です
今日播いた種をしずかに濡らす雨
やむまではじつとみつめているからね
あの雨の後ろの方にいませんか

静岡県	米山明日歌
大阪府	雨森茂喜
大阪府	浅井ゆず
京都府	和田洋子
青森県	守田啓子
島根県	石橋芳山

◆選評

今回の課題は「雨」。珍しくはないが
味わいがある。十佐一賞なのでどんな
句が集まるか楽しみにしていた。
長く川柳に関わっていると既視感が
じやまをして選が進まなくなってしまう。
もし申し出があれば素直に頭を下
げるしかないと思っている。

【秀逸】

日曜の雨には頭からはいる
「頭から」がおもしろい。
日曜をこのように感じるのは、日頃
まじめに働いているからだろう。
雨の中を走る姿が目につかぶ。

雨粒のタテヨコ測る仕事です

報酬があるのが仕事だとすれば、こ
んな仕事はないだろう。しかし、こ
ように思える仕事はあるかもしれない。
もしかしたら気象関係のお仕事？
今日播いた種をしずかに濡らす雨
「しずかに」がいい。
播き終わったところに雨が降つてき
たらどう思うだろう。

よろこんでいる種、ありがたい雨。
やむまではじつとみつめているからね
以前、病棟の窓から小雨の中にうず
くまるたくさんの鳩を見ていたことが
ある。雨が降ると、今でもそのときの
ことを思いだす。

あの雨の後ろの方にいませんか

並んでいる後ろの方にいる人はいつ
たい誰だろう。それは、いつも一緒に
いるあなたではありませんか？
けんかする元気もいいますが、二人の仲
がいいことは幸せなことだと思ふ。

【特選】

雨の日は私も雨になつて
晴れの日は晴れに、雨の日は雨に。
生き方を押しつけない「私も」という
書き方がいい。
雨になつてわかること、雨が教えて
くれることがある。



なかはられいこ選
なかはられいこ／岐阜県・「ねじまき句会」所属



ねじまき句会
公式サイト

【佳作】

多数派になつてようやく雨上がる
祈らない祈り想定外の雨
耳鳴りと交替します雨の足
にわか雨街も心も虹が出る
あの雨の後ろの方にいませんか
今日播いた種をすずかに濡らす雨
降る雨は左耳にて沼になる
古傷も感情線も雨催い
天気雨がまんしなくていいんだよ
恥ずかしい蓋からはみでている雨が
思いきり泣かせて虹をお出りする
秋霖を押し分けて来る救急車
終盤のところどころの雨やどり
アメンボウの軽さ雨粒は底へと
どしゃ降りで終わる交響曲五番
雨ですが仲間に入れてくれますか
君が触れサンバのような雨になる

青森県 まきこ
青森県 三浦蒼鬼
青森県 大黒谷サチエ
青森県 風 情
青森県 守田啓子
大阪府 浅井ゆづ
兵庫県 篠井加代子
青森県 きさらぎ彼句吾
熊本県 いわさき楊子
東京都 飯島章友
静岡県 句ノ一
青森県 小野五郎
東京都 はるのあきこ
愛知県 青砥和子
滋賀県 北村幸子
福井県 みつ木もも花
神奈川県 芝岡かんえもん

雨の日は私も雨になつて
思い出もあるし雨でもだいじょうぶ
雨音で志功版画はジャズの乗り
雨が降る海の記憶を失くさぬように
そもそも雨 100グラム下さい
分母から雨で分子は水浸し
外は雨多めに付けるハッシュタグ
つぎつぎと雨を産んでは困らせる
七人の活字中毒雨模様
家族写真に耳を寄せれば雨の音
悪役も虹になつてるところでしょう
土砂降りになつたら笑う時間です
雨あめ雨ワタシ太平洋になる
雨はまだ部屋干しシャツの袖の皺
条約で春雨だけを禁止する
雨音も星も担いで行きましよう
ある日ふと雨を被つてみたくなる
降りつづく雨もつぎつぎ違う雨

島根県 石橋芳山
秋田県 齋藤泰子
大阪府 岸井ふさゑ
青森県 吉見恵子
大阪府 雨森茂喜
宮崎県 てつろう
大阪府 高杉 力
秋田県 赤石ゆう
秋田県 妹尾 凜
東京都 小沢 史
秋田県 佐藤春子
青森県 まみどり
京都府 和田洋子
岐阜県 早川 柚香
大阪府 まつりべきん
東京都 はるのあきこ
愛媛県 郷田みや
宮崎県 てつろう

雨がやんでも大沢たかおに勝たれへん
すこしずつ空をずらしているトンビ
母のいる辺りが雨の境界線
雨音が君の声音になつて 朝
にわか雨キキキとしまるひらめ筋
雨粒のタテヨコ測る仕事です
オプシオンで柔らかい雨ついてくる
先人に做つて同じ水たまり
日曜の雨には頭からはいる

北海道 河野潤々
静岡県 句ノ一
兵庫県 篠井加代子
青森県 葉 閑女
青森県 佐藤寿見子
大阪府 雨森茂喜
大阪府 高杉 力
東京都 辻 述
静岡県 米山明日歌

【秀逸】

ばあちゃんが杖でつついて降らす雨
雨になりたかつた冷や麦の緑
どしゃ降りも蛇口も夏も君も楽器
縦書きの雨はくちどけまで草書
雨するか雨しないかを決めなさい

滋賀県 峯 裕見子
神奈川県 相原あやめ
高知県 小野 善江
鳥取県 斉尾くにこ
愛媛県 吉松澄子

【特選】

秋にする竜頭に雨を巻きとつて

兵庫県 八上桐子

【選評】

十佐一賞の選考を任せていただいて何年経つのだろう。選ぶという傲慢で不遜な行為(と、思わねばならない)への、本来感じなくても良いはずの後ろめたさのようなモヤモヤを「自分自身が試されているのだ」と言う言い訳で乗り切ってきた。だが、正直に言おう。選は楽しいのだ。作品と向き合い、会話し、驚いたり、笑ったり、しみじみしたりできることが、ひたすら楽しいのだ。今回も十二分に楽しませて頂いた。

秋にする竜頭に雨を巻きとつて

特選で選んだ句である。最初から最後まで惹かれた一句で、一字一句惹かれっぱなしであった。一目惚れとはこういうことだ。で、どうしよう。どこがどう良くてどこに惹かれたのか、言う必要があるのだろうか。ほつといてほしい、と言いたいところだけど、そうはいかないので、なんとか説明してみる。まず、竜頭に雨を巻きとる、というフレーズは尋常な表現者には出来ないと思う。うっとりするほど美しいけれど、適度に実務的で自己陶醉感がない。季節が夏から秋に変わる、時間の流れを映像化すればこうなるのだ。この作品の主体は時間な

のだから。だからこそ「秋にする」なのだ。

雨するか雨しないかを決めなさい
縦書きの雨はくちどけまで草書
どしゃ降りも蛇口も夏も君も楽器
雨になりたかつた冷や麦の緑
ばあちゃんが杖でつついて降らす雨

秀の一は名詞の動詞化という最近よく見かける手法ではあるけれど、ケレン味も嫌味もなくまとまっているのは「雨」という素材とそれを活かしたのは作者の手腕だと思ふ。(選評の続きはウェブサイトに掲載しています)



樋口由紀子選

ひぐちゆきこ／兵庫県・「晴」編集発行人

【佳作】

雨の夜 笑うセールスマン オッス
雨脚を聞いている障子閉じたまま
雨粒がばたりばたりと猫になる
アメフラシ王に來世はなる絶対
今日わたし雨冠の下にいる
どしゃ降りも蛇口も夏も君も楽器
雨あめ雨ワタシ太平洋になる
きのうまで奥に雨雲棲んでいた
雨の日は私も雨になつて
あの雨の後ろの方にいませんか
記憶の固執アップアップJAPJAPRUNRUNRUN
麩菓子に惚れた居場所探している小雨
ひたすらに遺品の整理こぬか雨
つぎつぎと雨を産んでは困らせる
ある日ふと雨を被つてみたくなる
思いぎり泣かせて虹をお出する
トリチウムマジリノ雨がフルアサハ

愛媛県 大西 進
秋田県 斎藤 泰子
東京都 森 砂季
東京都 飯島 章友
大阪府 小原 由佳
高知県 小野 善江
京都府 和田 洋子
京都府 山本知佳子
島根県 石橋 芳山
青森県 守田 啓子
北海道 河野 潤々
愛媛県 大内 せつ子
滋賀県 林 操
秋田県 赤石 ゆう
愛媛県 郷田 みや
静岡県 句 ノ 一
青森県 滋野 さち

条約で春雨だけを禁止する

ラ・フランスを齧る雨月物語
耳鳴りと交替します雨の足
すこしずつ空をずらしているトンビ
黒アゲハ雨冠を置いてつた
次は終点貧乏ゆすり雨が止む
ミシン目の雨 家で、家で死にたい
穴開いた傘の上にも雨が降る
埋めても埋めても降ってくる雨
へこんでるお臍ヘラテン系の雨
100%の雨母さんは違った
雨垂れとゾイドは同級生の雨
雨粒のくせに嬉しいこと言うね
雨粒の、どくん、で、見えた、多島、海、
諸事情があるなら雨になりなさい
線状降水帯にはパインアメ
歌舞伎町タワーに挑む酸性雨
ファンクションキーの七番に雨粒が

大阪府 まつりべきん
京都府 岩根 彰子
青森県 大黒谷サチエ
静岡県 句 ノ 一
青森県 熊谷 冬鼓
愛知県 中山 恵子
兵庫県 八上 桐子
京都府 西山 竹里
愛媛県 藤井 阜
鳥取県 斉尾 くにこ
青森県 田中 薫
北海道 澤野 優美子
東京都 嫉妬 林檎
三重県 西脇 祥貴
愛媛県 村山 浩吉
岡山県 藤井 智史
福岡県 もりともみち
愛知県 安藤 なみ

大豆もおれも百科全書の雨の中

あした降る雨は時給でいいですか
ものはいよいよ雨は一色じやない
リゾットのようなしつこい雨が好き
こうなると分かっていますと雨と雨
くちびるが あめ と動いて雨になる
恥ずかしい蓋からはみでている雨が
雨するか雨しないかを決めなさい
雨がやんでも大沢たかおに勝たれへん

三重県 西脇 祥貴
愛媛県 村山 浩吉
秋田県 妹尾 凜
三重県 青砥 たかこ
愛媛県 郷田 みや
徳島県 徳長 怜
東京都 飯島 章友
愛媛県 吉松 澄子
北海道 河野 潤々

【秀逸】

日曜の雨には頭からはいる
雨粒のタテヨコ測る仕事です
そもその雨 100グラム下さい
死んだふりそれもいいわ傘がある
雨なので気をつけをして酔ってます

静岡県 米山明日歌
大阪府 雨森 茂喜
大阪府 雨森 茂喜
青森県 まみどり
長野県 西沢 葉火
滋賀県 峯 裕見子

【特選】

ばあちゃんが杖でつついて降らす雨

世界のそこだけ止まっている。魔法使いのおばあさんが魔法の杖をつついて雨を降らすのはどこかの童話で読んでことがあつた。しかし、ここはどこかにでもいるふつうのばあちゃんだろう。歩行の手助け杖でつついたって、雨を降らすことなんてできるわけがない。でも、降るかもしれない。知らなかつただけかもしれない。私たちが思っているより世界は不可思議なことがいっぱいあるのだ。

雨なので気をつけをして酔ってます

「雨なので」と雨に責任転嫁しているところがいい。「気をつけ」は学校で先生に

言われてしかたなくするのと自分で勝手にするのはおおきな違いがある。酔っぱらいの気をつけの姿勢は滑稽であり、愛敬がある。雨を見ながら、雨に打たれながら。どちらにしても、そのかつこよくない姿を想像して、鼻につんときた。

死んだふりそれもいいわ傘がある

「死んだ」↓「ふり」↓「それも」↓「いいわね」と言葉が言葉が順々にリズムよく追つていって、着地する。そして、↓「傘がある」と脱線する。素直ではないのだ。「死んだふり」がなんとかわいくて、切なくなる。

そもその雨 100グラム下さい

「そもそも」のわからなさに「そもそも」

の味わいがある。それも一字空けて、切れている。何かを、たとえば牛肉を100グラム買ったとしても、ただそれだけのことが、「そもその雨」を前に置くことでポエムっぽくなる。ずるいなあとと思う。

雨粒のタテヨコ測る仕事です

「頭からはいる」と「頭から濡れる」の違いを考へさせられる。どんな視点で世界を見ているのか。どんな視点で日常を過ごしているのか。身近な「雨」から見えてきた。



広瀬ちえみ選

ひろせちえみ／宮城県／「Whats」編集発行人

【佳作】

やむまでではじつとみつめているからね
もどかしい下唇のあまもよい
仇討ちの決め手はにわか雨でした
鬼子母神豪雨注意報発令
髪とけばゆうらり雨月物語
雨冠つけて野原をさまよいぬ
雨の夜 笑うセールスマン オッス
七人の活字中毒雨模様
今日播いた種をしずかに濡らす雨
マジヨリカの雨が降り出す洗濯機
雨男という仕事を持つている
懐かしい映画背中にいつも雨
秋にする竜頭に雨を巻きとつて
外は雨多めに付けるハッシュタグ
思いぎり泣かせて虹をお出する
雨なので気をつけをして酔ってます
雨漏りがするのでおてやわらかにね

京都府 和田洋子
京都府 河村啓子
東京都 橋元デジタル
埼玉県 山田こいし
青森県 沢田百合子
愛知県 中川喜代子
愛媛県 大西進
秋田県 妹尾凜
大阪府 浅井ゆず
京都府 市井美春
神奈川県 下村修
大阪府 峯島妙
兵庫県 八上桐子
大阪府 高杉力
静岡県 句ノ一
長野県 西沢葉火
愛知県 今村美根子

日曜の雨には頭からはいる
家族写真に耳を寄せれば雨の音
雨のつく名前嫌いじゃないよパパ
終盤のところどころの雨やどり
屈強な雨男どもばかりです
雨はもう覚悟決めてる金閣寺
雨漏りのひどい一間にある玉座
雨粒の全てに般若波羅蜜多
死んだふりそれもいいわ傘がある
きのうまで奥に雨雲棲んでいた
誰の雨だろう炎上しちゃってる
それはさておき姉は雨降りお月さま
雨ですが仲間に入れてくれますか
つぎつぎと雨を産んでは困らせる
黒アゲハ雨冠を置いてった
密室へ時雨をつれてきたんだね
ただ降っただけなのに怒られた
雨粒のタテヨコ測る仕事です

静岡県 米山明日歌
東京都 小沢史
青森県 須藤しのすけ
東京都 はるのあきこ
熊本県 しまもと菜浮
青森県 三浦蒼鬼
東京都 橋元デジタル
福岡県 もりともみち
青森県 まみどり
京都府 山本知佳子
千葉県 尾崎良仁
福岡県 柴田美都
福岡県 みつ木も花
秋田県 赤石ゆう
青森県 熊谷冬鼓
青森県 沢田百合子
秋田県 田久保亜蘭
大阪府 雨森茂喜

雨するか雨しないかを決めなさい

条約で春雨だけを禁止する
アメフラシ王に来世はなる絶対
黄金の雨をダナエと分かち合う
責任はてるてる坊主に取りませよう
夜で雨でさて始めるか大僧正
すっぱんのぼんのあたりが効いて雨
くちびるが あめ と動いて雨になる
雨の日はわたしの猫になりなさい

愛媛県 吉松澄子
大阪府 まつりべきん
東京都 飯島章友
兵庫県 黒田弥生
北海道 浪越靖政
愛知県 青砥和子
愛知県 中山恵子
徳島県 徳長 怜
滋賀県 中島順子

【秀逸】

あした降る雨は時給でいいですか
雨がやんでも大沢たかおに勝たれへん
ちよんどのいい孤独 夕立と歩く
あの雨の後ろの方にいませんか
雨粒のくせに嬉しいこと言うね

【特選】
ばあちゃんが杖でついで降らす雨

愛媛県 村山浩吉
北海道 河野潤々
秋田県 佐渡真紀子
青森県 守田啓子
東京都 嫉妬林檎
滋賀県 峯裕見子

【選評】

十佐一賞が集まった「雨」の作品は、おとなしく軽く静かで、冒険的な作品は少なかつたように思います。それはすこし物足りない感じがするおとなしき、軽さ、静かさであったような気がします。私の選もそうだった感があります。

そのなかで、力強くまた異様さを感じさせる特選句でした。
これまで選者を務めさせていただいていますが、私が特選にする作品は何かが起さる（こうまで言っていないのかどうか）起こさせることが何度かあったように思います。ですから、特選句にはいつも悩

みます。今回は、いつべんで決まりました。それはそれで悩みました。たぶんこの作品はどなたも選んでいないかもしれない、私だけが特選ということ（ジャッジには責任が伴うので）、批判を浴びるかもしれないというコワサをつきつけられま

特選 ばあちゃんが杖でついで降らす雨

この「ばあちゃん」とはいつたい何者だろうか。杖をついている足が不自由などこにでもいるばあちゃんのようなもので、呪術師的である。そして義憤に満ち

ているようでもある。ばあちゃんの杖はどこまでも伸びる杖だ。ばあちゃんが「伸びよ！」と言えば天まで伸びて天に穴を開け、雨を降らせることなど朝飯前なのである。

日照りのときは民や動植物のための雨を降らせ、憤懣やるかたない人間どもの行いには天罰の雨を降らせることもできるのである。この作品の「雨」は自然界における天候や気候という意味をはるかに凌いでおり、魔術的で異様な力を感じさせられた。自立するばあちゃんのなんとかつこういいこと！
(全文はウェブサイトに掲載しています。)



雨森茂喜選

あまもりしげき／大阪府・第27回杉野十佐一賞受賞者

【佳作】

ファンクションキーの七番に雨粒が
雨粒のひとつひとつに味がある
雨がやんでも大沢たかおに勝たれへん
夕立ちのしんがりで聴くクル・セ・ママ
置き去りにされた花柄アンブレラ
ちようどいい孤独 夕立と歩く
梅雨に紛れ込む女偏獣偏
ヴィーナスの右手は雨傘と消えた
黄金の雨をダナエと分かち合う
雨粒の頭突きを喰らえ生きたまえ
耳鳴りと交替します雨の足
足跡を残して雨が生えている
このままになるかもしれぬ雨の音
真夜中の雨 疼きだす左の乳房
雨だれをコピペしているアメフラシ
雨の午後二時四十分のドーナツ屋
ヒトサジノ雨ラシニミズトシテイク

愛知県 安藤 なみ
滋賀県 林 操
北海道 河野 潤々
北海道 落合 魯忠
青森県 熊谷 冬鼓
秋田県 佐渡真紀子
青森県 千葉かほる
神奈川県 相原あやめ
兵庫県 黒田 弥生
愛媛県 吉原 美佐
青森県 大黒谷サチエ
長野県 西沢 葉火
滋賀県 重森 恒雄
愛媛県 田中 なお
大阪府 岸井ふさゑ
愛知県 猫田千恵子
青森県 Jessica

へこんでるお臍ヘラテン系の雨
ただ降っただけなのに怒られた
雨なので気をつけて酔ってます
雨音の中であなたはサブリミナル
哲学に雨かんむりがちゃちゃ入れる
縦書きの雨はくちどけまで草書
家系図はいつから時雨れ始めたか
にわか雨キュキュッとしまるひらめ筋
条約で春雨だけを禁止する
やむまでは重機のシヨパン・コンクール
ひとりになってからの雨の時刻表
つぎつぎと雨を産んでは困らせる
秋霖を合図ににんべんに戻る
雨が好きだつて言ったじゃない毛豆
いっぱい雨を見てきたネコの潤んだ目
あの雨の後ろの方にいませんか
恥ずかしい蓋からはみでている雨が
家康がなんじゃもんじゃと漫る雨

鳥取県 斉尾くにこ
秋田県 田久保亜蘭
長野県 西沢 葉火
愛知県 長岡みゆき
兵庫県 妻木寿美代
鳥取県 斉尾くにこ
奈良県 ひとり 静
青森県 佐藤寿見子
大阪府 まつりべきん
熊本県 しまもと 葉浮
福井県 みつ木もも花
秋田県 赤石 ゆう
北海道 四ツ屋いずみ
秋田県 一 帆
青森県 笹田かなえ
青森県 守田 啓子
東京都 飯島 章友
静岡県 佐野由利子

雨の日はわたしの猫になりなさい
黒アゲハ雨冠を置いてつた
降る雨は左耳にて沼になる
雨男という仕事を持つている
小糠雨アブラカタブラ風の街
雨の絵を圧縮した上で泳ぐ
諸事情があるなら雨になりなさい
水色を忘れた雨の失態図
ラ・フランスを齧る雨月物語

滋賀県 中島 順子
青森県 熊谷 冬鼓
兵庫県 筏井加代子
神奈川県 下村 修
青森県 桜田富士江
愛媛県 藤井 卓
愛媛県 村山 浩吉
京都府 木戸 利枝
京都府 岩根 彰子

【秀逸】

雨粒のくせに嬉しいこと言うね
なにぬねと降る雨ぬれたくはないな
日曜の雨には頭からはいる
雨するか雨しないかを決めなさい
あした降る雨は時給でいいですか

東京都 嫉妬 林 檜
大阪府 浅井 ゆず
静岡県 米山 明日歌
愛媛県 吉松 澄子
愛媛県 村山 浩吉

【特選】

夜で雨でさて始めるか大僧正

愛知県 青砥 和子

【選評】

私は、体（脳以外）のあちらこちらに川柳怪獣を飼っています。彼らは感動的な作品に出会うと、大声で叫びます。そんな彼らの叫び声に従って選をしました。

雨粒のくせに嬉しいこと言うね

雨粒が作者のツボを熟知していて、お気に入りへの褒め方を。まんざらでもない様子で、頬を思わず緩めた作者の顔が目に見えます。雨粒と作者は相思相愛。

「くせに」とか言いながら愛情あふれる暖かい言葉。

なにぬねのと降る雨ぬれたくはないな
なにぬねのという降り方を想像している

と私も段々濡れたくないといい始めました。下の句にもぬ、な、な、の音を入れ句全体がもう、「ナ行」でびちよびちよ!!
日曜の雨には頭から入る
えっ?どこへ?雨の中へ?傘の中へ?日曜以外だったら、足から?まあ、たまの休みですからお好きな方法で。

雨するか雨しないかを決めなさい
いつの頃からか定着した、名詞+するの言葉。びつたり決まりました。単に雨が降る、以上に色々の意味を包み込んでいて壺りました。「ハイ、決めました。雨します」

そして、その後で、「ランチしましょう」
あした降る雨は時給でいいですか
時事的川柳なのでしょいか?時給で、と

いうことは、正社員の身分ではなく、パートタイマーのような臨時社員の身分として、ということですね。どこか、不景気な印象。いやいや、時給って、現代的で気楽そう。でも、そもそも何で雨に給料を?

夜で雨でさて始めるか大僧正

夜、そして、雨限定の。そんな怪しげな夜に、これまた偉い、偉い大僧正を登場させ、何をしようとするのでしょうか。

碁を打つ、酒盛り、いやいやもつと、反社会的な、よからぬ企みを想像します。ともかくにも「大僧正」で特選獲得。

*川柳怪獣へのメールお待ちしています。

amsen@gtea.ocn.ne.jp



むさし選

むさし／青森県・おかしょうき川柳社代表

【佳作】
雨でしたファーストキスもお別れも
妻である時間の長い長い雨
天高く夫婦の仲はざんざん降り
古傷も感情線も雨催い
それはさておき姉は雨降りお月さま
もどかしい下唇のあまもよい
オプシオンで柔らかい雨ついでくる
雨漏りがするのでおてやわらかにね
音もなく濡らすあなたを好きな雨
片恋の傘の石突伝う雨
雨はもう覚悟決めてる金閣寺
雨だれをコピペしているアメフラン
雨なので気をつけをして酔ってます
雨が降る海の記憶を失くさぬように
今日わたし雨冠の下にいる
また虹が出たりするんだひよつこりと
しあわせな人のフリする雨宿り

石川県 藤村 容子
青森県 滋野 さち
東京都 上原 稔
青森県 きさらぎ彼吾
福岡県 柴田 美都
京都府 河村 啓子
大阪府 高杉 力
愛知県 今村 美根子
埼玉県 織田 和子
滋賀県 谷 優
青森県 三浦 蒼鬼
大阪府 岸井 ふさゑ
長野県 西沢 葉火
青森県 吉見 恵子
大阪府 小原 由佳
秋田県 佐々木 智恵子
青森県 須藤 しのすけ

仇討ちの決め手はにわか雨でした
雨音も星も担いで行きましよう
ホント・マジ・ウソ・ヤバに降る天気雨
「巴里は雨」唱えて会話に入ってく
この雨を強いて言うなら加トちゃんべ
雨の午後二時四十分のドーナツ屋
どしゃ降りて終わる交響曲五番
黒アゲハ雨冠を置いてった
どしゃぶりねもう苦いもの食べられる
悪役も虹になつてるころでしょう
家系図はいつから時雨れ始めたか
ヴィーナスの右手は雨傘と消えた
雨ですが仲間に入れてくれますか
なにぬねと降る雨ぬれたくはないな
日曜の雨には頭からはいる
祈らない祈り想定外の雨
梅雨明けや雨垂れたちとハグをする
雨の日はわたしの猫になりなさい

東京都 橋元 デジタル
東京都 はるのあきこ
岡山県 小林 茂子
愛知県 安藤 なみ
青森県 「casier」
愛知県 猫田 千恵子
滋賀県 北村 幸子
青森県 熊谷 冬鼓
東京都 藤田 めぐみ
秋田県 佐藤 春子
奈良県 ひとり 静
神奈川県 相原 あやめ
福井県 みつ木 もも花
大阪府 浅井 ゆず
静岡県 米山 明日歌
青森県 三浦 蒼鬼
神奈川県 芝岡 かんえもん
滋賀県 中島 順子

思いきり泣かせて虹をお出りする
足跡を残して雨が生えている
雨粒の全てに般若波羅蜜多
ばあちゃん杖でつついて降らす雨
雨の日は私も雨になつて
縦書きの雨はくちどけまで草書
誰の雨だろう炎上しちやつてる
雨音を口にふくんだままのキス
土砂降りになつたら笑う時間です

静岡県 句ノ一
長野県 西沢 葉火
福岡県 もりともみち
滋賀県 峯 裕見子
鳥根県 石橋 芳山
鳥取県 斉尾 くにこ
千葉県 尾崎 良仁
滋賀県 北村 幸子
青森県 まみどり

【秀逸】
雨するか雨しないかを決めなさい
雨音が君の声音になつて 朝
雨粒の、どくん、で、見えた、多島海、
くちびるが あめ と動いて雨になる
止まぬ雨主音の「ド」から始まつた

愛媛県 吉松 澄子
青森県 葉 閑女
三重県 西脇 祥貴
徳島県 徳長 怜
高知県 大野 美恵
大阪府 宮井 いずみ

【選評】

第28回杉野十佐一賞にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございます。選者として深く感謝申し上げます。応募数は、前々回が320句、前回は322句、今回は333句となりました。わずかずつではありますが増加しています。主催者としてはありがたくうれしく思っております。

今回の題「雨」ですが、ありふれたごく一般的な題で、以前何回も作ったことのあるという方も多いでしょう。過去に作ったことのない方は作りやすく、以前作ったことがある方は作りづらく、

い、そんな題だったかもしれません。そんな中で上位に入選するためには、普通とは違った発想が必要ですが、「言うは易く行うは難し」であります。私が秀逸3に選んだのは、読点が雨粒のようにちりばめられた不思議な光景の次の句。

雨粒の、どくん、で、見えた、多島海、
秀逸2は、既視感があると言われそうな句ですが、「あめ」と言う唇の形が見えてくる次の句。

くちびるが あめ と動いて雨になる
秀逸1は、雨を音楽としてとらえた、これからどんな光景が見られるのだろうと思わせる次の句。
止まぬ雨主音の「ド」から始まつた

そして、特選は次の句。

雨雲をあやつる虹色のネイル

「虹色のネイル」というのは、虹色にネイルアートを施した爪のことでしょう。おそらく、両手の指の爪10本全部が「虹色」に塗られ、ぬめりを帯びている。その指が妖しく、「雨雲をあやつる」。

これは現実にはあり得ない光景です。「幻想」を讀者に見せる川柳です。私は「川柳はイリュージョンである」と思っています、この句は正にイリュージョンだと思えます。カラフルな何とも妖しいイリュージョンに惹かれてしまいました。



第28回 杉野十佐一賞 応募者ご芳名

【北海道①】 落合魯忠 河野潤々 澤野優美子 浪越靖政 四ツ屋いずみ	【青森県⑦】 石澤はる子 稲見則彦 井上健蔵 小野五郎 川嶋 翔 きさらぎ彼句吾 工藤麦の芽 熊谷冬鼓 坂本清乃 桜田富士江 笹田かなえ 笹田隆志 佐藤雅秀 佐藤寿見子	【千葉県②】 山田こいし 野邊富優葉 織田和子 村あつこ 守田啓子 葉 閑女 吉田州花	【群馬県①】 まきこ まみどり 三浦蒼鬼 村井規子 村あつこ 織田和子 野邊富優葉 山田こいし	【埼玉県③】 赤石ゆう 一 帆 斎藤泰子 佐々木智恵子 佐藤春子 佐渡真紀子 妹尾 凛 田久保亜蘭	【東京都①】 尾崎良仁 日下部敦世 上原 稔 小沢 史 こしパン 飯島章友 嫉妬林橋 辻 述 橋元デジタル はるのあきこ 藤田めぐみ 丸山修平 森 砂季	【新潟県①】 谷沢けい子 太代祐一 下村 修 芝岡かんえもん 中前棋人 春 爺	【富山県②】 岡野 満 金瀬達雄 【石川県④】 石倉多美子 岡本 聡 中川洋子 藤村容子 【福井県②】 酒井曉美 みつ木もも花 【長野県②】 西沢葉火 丸山健三 【岐阜県①】 早川柚香 【静岡県⑤】 句ノ 一 佐野由利子 北村幸子	【愛知県⑫】 米山明日歌 青砥和子 安藤なみ 今村美根子 位田仁美 長岡みゆき 中川喜代子 中山恵子 猫田千恵子 松長 一步 三好光明 安井紀代子 溜 珂 【三重県③】 青砥たかこ 西脇祥貴 山口亜都子 【滋賀県⑦】 川口利江 北村幸子	【京都府⑨】 市井美春 岩根彰子 蟹口和枝 河村啓子 木戸利枝 西山竹里 藤本花枝 山本知佳子 和田洋子 【大阪府⑫】 浅井ゆず 雨森茂喜 小川佳恵 小原由佳 笠嶋恵美子 岸井ふさる 里山はるえ 高杉 力 まつりべきん 弘津秋の子	【兵庫県⑥】 宮井いずみ 大西 進 郷田みや 田中なお 土居新山 藤井 卓 湊 圭伍 村山浩吉 吉原美佐 吉松澄子 【奈良県②】 ひとり静 柳本恵子 【鳥取県①】 斉尾くにこ 【島根県①】 石橋芳山 【岡山県③】 小林茂子 藤井智史 八木五十八 【広島県①】 笹重耕三 【徳島県①】 徳長 怜 【愛媛県⑪】 青野 舞	【岩手県⑧】 重森恒雄 谷 優 中島順子 林 操 峯裕見子 【京都市⑨】 市井美春 岩根彰子 蟹口和枝 河村啓子 木戸利枝 西山竹里 藤本花枝 山本知佳子 和田洋子 【大阪府⑫】 浅井ゆず 雨森茂喜 小川佳恵 小原由佳 笠嶋恵美子 岸井ふさる 里山はるえ 高杉 力 まつりべきん 弘津秋の子	【兵庫県⑥】 宮井いずみ 大西 進 郷田みや 田中なお 土居新山 藤井 卓 湊 圭伍 村山浩吉 吉原美佐 吉松澄子 【奈良県②】 ひとり静 柳本恵子 【鳥取県①】 斉尾くにこ 【島根県①】 石橋芳山 【岡山県③】 小林茂子 藤井智史 八木五十八 【広島県①】 笹重耕三 【徳島県①】 徳長 怜 【愛媛県⑪】 青野 舞	【高知県③】 大野美恵 小野善江 森乃 鈴 【福岡県②】 柴田美都 もりともみち 【熊本県②】 いわさき楊子 しまもと菜浮 【宮崎県①】 てつろう
---	--	--	---	---	---	---	--	--	---	---	---	---	--

課題と選者 (2句詠・共選)

題：『名』

2/29 〆切

選者 暮田真名 (東京都)
Sin (青森県)

投句方法

※誌に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】
<http://okajoki.com/>へアクセスし、「投句する」→「0番線」を選び、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信】
 メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、守田喜子宛にメール送信してください。<送信先アドレス：moriko@okajoki.com>

投句料 (※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円 (発表誌呈) * 雑誌の送料をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-8-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

カンテラ

むねこ

あけましておめでとうございます。

本年もおかじょうき川柳社をよろしく願います。

会員の皆様にとって良い年でありますよう、心より

御祈念申し上げます。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

落葉ふむ又くる秋もふめるよう

村上てる

コンセント抜けば静かになる暮らし

城後朱美

おめでとう今日から前期高齢者

土田雅子

尼など死んでもならぬ曼珠沙華

嵯峨山登

じよっぱりの出しどころ間違えたまま五十三

村井規子

触れられた乳房が歌う「イエスタデイ」

夏草ふぶき

口づけをした場所なんて知りません

須藤しのすけ

斬られ役にもプライドはある辛きんとん

木村美映

背骨から寄せては返す波頭

熊谷冬鼓

舞い上がった分だけ落ちていく途中

斎藤泰子

古ぼけたオルガンで聴くセレナーデ

葉 閑女

ピンボケでいい老人の臍の位置

三浦蒼鬼

牙研いで尿漏れパッドを買いに行く

戒 踊兵

戒踊兵さん、「尿漏れ」って自分の意思とは関係な

く尿が漏れてしまっただよね。あるホームページで「尿漏れパッド」を見たら「お持ちのパンツに装着するだけ」「移動中に漏れたり、匂いで他人に知られる心配もありません」「肌触りも良く、しっかり尿を吸収してもサラッとしたつけ心地なので、敏感肌の方にもお使いいただけます」だつてよ。ところで、「尿漏れパッドを買いに行く」ために「牙を研いで」るわけじゃないんだよね。いつでも「牙」を研いでいるんだよね(笑)

B群

純情をちぎって食べている女

芝岡かんえもん

ぐちゃぐちゃなオマケでした鼻濁音

瀧尻善英

楕円形おだてに乗ってしまったわ

まみどり

幸せは人それぞれに蜘蛛の糸

一帆

烏羽玉の真つ黒覚悟できてるね

ひとり静

くちびる寄せる海岸線を重ね合い

きさらぎ彼句吾

カサカサと落葉 プラスチックな心

吉見恵子

吉見恵子さん、葉っぱが枯れて、枝から離れて落ちて、乾いて「カサカサ」と音がしてくると、いつも柔らかくて暖かくふんわりしている「心」が合成樹脂みたい固まってしまふ、そんな気がするってことですよ。雪を被った落葉はどんな句になるんだろう。

C群

どちらかと言えば清少納言です

守田啓子

下半身に流れ着いているザンジバル

小野五郎

血中酸素96のうさぎ齡

鳴海賢治

銃口が白い鳥に向いている

安藤なみ

油断してはるエナメル靴のほつぺた

岩根彰子

守田啓子さん、「清少納言」は「枕草子」の作者で、「源氏物語」の作者である紫式部と並び称されたひとです。よね。「枕草子」と「源氏物語」は平安文学の双璧。「枕

草子」は随筆で、「源氏物語」は光源氏と女性達の物語で、啓子さんは「私は紫式部よりは清少納言です」なんだね。

小野五郎さん、「サンジバル」ってアフリカ東海岸のインド洋上にあるタンザニア連合共和国サンジバル諸島の地域名なんだね。エメラルドグリーン的大海と白い砂浜、街並みが有名で、あの伝説のロックバンド「クイン」のヴォーカル、フレディー・マーキュリーの生誕地ですよ。五郎さんの「下半身」ってどうなってるんだろ…。

鳴海賢治さん、「血中酸素」が「96」%ですか。血液中の酸素濃度は99〜96が正常値で、体に疾患があったり体調不良などを起こしていると数値が低下するところがあるそうです。で、「うさぎ齡」ですか。とすれば、私より一回り程先輩ですね。「うさぎ齡」生まれの男性は愛嬌があり礼儀正しいと言われています。元氣な「うさぎ齡」めでたし！

安藤なみさん、「白い鳥」って「白い羽の鳥」で、ありえないことのとえに使われますよね。でも、実際には新潟県などで確認されていて、10万分の1ほどの確率で発生するそうです。ということですが、この句の「白い鳥」は具体的に言うとなんか何のことでしょうか。ウクライナ？ガザ？それともっと違うところ？

岩根彰子さん、「してはる」って京言葉、いいですね。で、何が「油断してはる」かと思ったら「エナメル靴のほっぺた」と来ました。つま先だといつも前を向いているから油断はしていないけど、「ほっぺた」だと「油断」していきそうですね。「靴のほっぺた」ってのもいいなあ。

おかじょうぎ川柳社会員雑誌集

無人駅

★無人駅12月月間賞

泣けば済むものを集めて燃やしてる

米山明日歌

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

実は今ナイチンゲール症候群
褒めてくださいと調子イイです
捕まえて！多分ハートを盗まれました
口づけをした場所なんて知りません
本当のことだけ黒塗りにされる

先月号のお気に入り
電話が鳴ってるのは知ってるんだ Sin
電話が鳴るのは、多かれ少なかれ面倒な人間関係があるから。変拍子的な下五に説得力を感じる。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

後戻り出来ぬドレミファソの階段
遠回りすれば微笑む薔薇が待つ
もりもりと盛って崩れる危機管理
待ちぼうけホットミルクに膜が張る
ぐちゃぐちゃなオマケでしたね鼻濁音

先月号のお気に入り
誰かわからん奴が味噌汁にいる 芝岡かんえもん
「わからん奴」に親しみを感じます。八戸地方の秋の味噌汁といえは阿房菊、目に鮮やかな色合い。独特の芳香旨味。最高。おそらく県外の方々がみればわからん奴です。

旅男【たびお・青森県五所川原市】

マヨラーケチャラートンガラー加味噛み
空、喰う、苦 過剰摂取のらりるれる
生きるに意味などないと聴く春の海
差しせまる寿命ははしる影もなく
我慢して話しをしよう冬の花

先月号のお気に入り
お前も神なら 襖ぎ被えよ 幸え給えよ Sin
神様、あなた詐欺じゃございませんか？あんたの為に死んでるんですよ、紙様。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

止まらない悲劇と喜劇シエイクする
傾いた岸を飾ったシームレス
幕が開くじれつたいのよトースター
ご飯炊くロマン飛行はまだ遠い
肉まんの隙間で息を語り合う

先月号のお気に入り
雑草の居場所を広くしてあげた 熊谷冬鼓
なんとー無理ーできなごー！

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

太陽が折り重なって出来ちゃった
本音言うから旨い味噌汁用意して
不揃のリンゴの裏のできの良さ
天国と地獄ヒョイットごみ箱に
乗せてつて赤い犬から先にして

先月号のお気に入り

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

夢の世は非のない明るい地平線
隅っこに居る天使さあ朝ですよ
たぶん今秋だと思つていいですか
さあ時間とフラットな声でおしごと
レム睡眠ああ復活中である

先月号のお気に入り

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

へパリーゼ常備しておく年初め
おめでとう今日から前期高齢者
誕生花が菊つて随分地味でしょう
おみくじは小吉欲張らずに過ごす
雷ゴロゴロ重箱ついたのは私

先月号のお気に入り

夏草ふぶぎ【なつくさふぶぎ・青森県青森市】

触れられた乳房が歌う「イエスタデイ」
寝たきりになったあなたを独り占め
男替え次の不幸の味を見る
独房で熟れたアタシを持って余す
訣別のキスをしようかコート脱ぐ

先月号のお気に入り
空に傷みんな気づいているのでしょう ひとり静
気づいてますが手を伸ばしても届かないのです。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

指先に迷いあり当てなく歩く
宗教二世が木登りを始めた
原因を究明西の空白い
血中酸素96のうさぎ齢
むすんではひらいてチョコを差し上げる

先月号のお気に入り
もう少し生きたくなくて毒をのむ
毒を薬に例えてみればおもしろい。
米山明日歌

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

これを書いたのは絶対苺パフェ
ひつじ雲ゆつくり飲んでゆくバケツ
開けてゆけばひとつは余る鍵の束
烏羽玉の真つ黒覚悟できてるね
檸檬じゃなくてアボカド置いてみましょうか

先月号のお気に入り
お茶断ちか猫断ちまたは活字断ち
この中じゃ猫断ちかな
宮井いずみ

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

黄昏れるまで臆想を繰り返す
ヒートテックにしたが寂しいわけじゃない
影薄くなつたらロボットになれる
しあわせを祈ると靴擦れが続く
ピンボケでいい老人の臍の位置

先月号のお気に入り
歳時記を連れ込みアレをしませんか
いいですね、アレなら。
守田啓子

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

煮つまつたページ千枚漬けにする
ずぶ濡れの夜デュラハンに会ってから
決め言葉ずばり神木大銀杏
丸窓にぬつと写楽の大首絵
鉛筆はロックンロールスーパーマン

先月号のお気に入り
空に傷みんな気づいているのでしょう
ひとり静
もちろん。だから無駄に焦っているのです。

ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

真つ赤にはなれないけれど高齢さ
今だぞと八甲田から充電中
隠れん坊落ち葉に埋もれロケンロール
テープカッターまでもう少しだ錆びた靴
会いたくてカセットテープ耳に当て

先月号のお気に入り
言い切って正しい位置にもどる舌
正しい。
米山明日歌

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

要するに気の持ちようで変わる窓
だとしても角ばっている殺風景
賑やかな三角形と待ち合わせ
楕円形おだてに乗ってしまつたわ
本当は星がどうか言わないで

先月号のお気に入り
読みかけの文庫本から咳払い
2つ考えられるのだが…確かめてみようって二
熊谷冬鼓

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

また昔みたいに行く何くそと
じよつぱりの出どころ間違えたまま五十三
九十歳の歩幅に妬いて今日は呑む
勧誘の電話にお金ありません
刺身にはあつたら醤油よりポン酢

先月号のお気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

ひまわりとコスモス風と鬼ごっこ
古稀過ぎて冷たい風が染みる秋
脳みそが油の切れた扇風機
風任せくるくる回る風見鶏
どっち行く風を読んでる交差点

先月号のお気に入り
帳尻が合ってしまったサヨウナラ
帳尻が合ってた良かったですね
熊谷冬鼓

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

産む苦痛もうたくさんと五人産む
二人姉妹ダンディーな義兄やつてくる
落葉ふむ又くる秋もふめるよう
落ちこんだ時にくる娘のでんわ待つ
亡父の愚痴聴こえそうな秋の雨

先月号のお気に入り
おねえさんとよばれたのならふりかえる ひらく
私もおばさんと言われたら返事をしないとの句を作り同
感です。いつも若々しい気持ちで送りたいと思っています。

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

どちらかと言えば清少納言です
偶然と龍のうろこをお守りに
祈ります雨冠が干せるまで
どんぐりの失敗 熊の徘徊
順繰りに秋色になることをする

先月号のお気に入り
空をまとい海を枕にする屋敷
ただモノじゃないですっ
夏草ふぶき

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

野ぶどうとあと幾度の瑠璃色を
還暦以来 傘など買わぬ雪月花
今は知る一灯のぬくさ明るさ
ツンデレは承知そうとしかならぬ
これより時雨わたくしへと還る

先月号のお気に入り
夕焼けの向こうはみんな昔です
そう思ってた焼けを見ることに。
米山明日歌

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

シユンシユンと鉄瓶 予報どおりに雪
君が逝くよだかの赤い星隣
泣き笑いして黄葉の途中に居る
カサカサと落葉プラスチックな心
金星は子を産んだこと銀杏の黄

先月号のお気に入り

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

毛糸玉転がるどこまでも自由
丸くなれやわらかくなれと水を足す
冬ならん空に正しい蒼ませる
返り花 花の狂いを抱いてみる
拝啓ではじまる冬のメランコリック

先月号のお気に入り
何度輪廻しても折リかけの鶴ね
来世でもきつと鶴を折る！
きさらぎ彼句吾

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

辰年の娘と祖父と茶碗蒸し
入口を出口に変えた初詣
古ぼけたオルガンで聴くセレナーデ
合言葉は「人の望みの喜びよ」
子も老いた昭和平成令和六

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

めりはりのりでくくる月曜日
B案にこだわりウロウロで瓊々
打ち明けはサマルカンドの古書店で
ジュラ紀にもうちの祖先は恋してた
じゃんけんしよつ、ヨッシャーと降って来た雪

先月号のお気に入り
湯豆腐に御法度のアレが入ってる
アレってなんだろう？まさか優勝？
小野五郎

米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

翻るもの一つにある寒さ
入り口のドロの乾かぬ非常口
野心には毎日水をあげてます
燃えカスでまだ待つ私いる青さ
冬にする方法ならば三つある

先月号のお気に入り
竜胆の青だな秋を呼んだのは
青が呼んだなんて、なんてステキな表現。呼んだのに気
がついた啓子さんも素敵。
守田啓子

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

手にした日眺めた日今日新種注ぐ
ゴンドラの唄を覚えた公民館
銃口が白い鳥に向いている
手作りの犬の作者が分らない
この匂い明日履く靴が燃えている

ホームズの謎解き終わる湯に入る 辻井洋子
ホームズのドラマ、見ていましたが止めます。ホームズの体系
がすつこ膨らんでシャープな推理とかけ離れてしまつて。残念。

一帆【いちほ・秋田県秋田市】

沈んでしまえばそりやあ静かな海
優しさも半分くらい青林檎
弱虫と捨て台詞吐く交差点
幸せは人それぞれに蜘蛛の糸
熊出没アイドルタイムから目覚め

ちよつどよい窪みだ想い出と独り 斎藤泰子
時々、そんな窪みを惹く。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

冬期講習アルハンブラは眠れない
カレーパンの奴が僕を呼んでいる
3分間待つても醤油が戻らない
蕎麦殻の枕トレモロ洩れている
下半身に流れ着いてるザンジバル

ブルースがいつも隣に来て座る ひとり静
何気に寄り添ってくれるブルース…いいなあ

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

立山の彼方は霧の死者の街
死者の風「生きていたのか」なんて云う
アッパーや黒い祭りはユーたちで
夢にまで妻が出て来る向かい合う
良心と叫んでひとり風の中

空に傷みんな気づいているのでしょつ ひとり静
私は気づいています。

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

フレンチ袖からケロヨン洗面器
油断してはるエナメル靴のほつぺた
抜き衿のアサギマダラや先斗町
薄切りにされて拗ねる源泉掛け流し
鰻の寝床を引き摺るはパドック

不自由でも自由でもなく四面楚歌 ひとり静
こんな作品をさらりと詠んでみたいものです。

戎踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

牙研いで尿漏れパッドを買いに行く
忘れろとアキラメナイに攻められる
あなたはね乾いた種から生まれたの
歩こうか錆びた線路の終わりまで
遺伝子がそうさせている怒りんぼ

けち偏にけち冠の男たち むさし
どうもスミマセン寄生したけちが肩から離れない

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

銀杏もこんなに積もつた待ちぼうけ
肩に背になぐさめるよな銀杏ふる
くちびる寄せる海岸線を重ね合い
ラストダンスまで糸切れた凧でもいいよ
ニンゲンを見すぎたようだドライアイ

ブルースがいつも隣に来て座る ひとり静
何気に寄り添ってくれるブルース…いいなあ

木村美映【きむらびえい・青森県青森市】

裸の王様あなたは何をしたいのか
怒つても吠えても月に水はなし
斬られ役にもプライドはある芋きんとん
酒くらい笑って飲めばいいじゃない
昼行灯憤怒を渡る河ありて

やっぱチャリ立ち漕ぎで坂グイグイと 田中 薫
今の自分に必要なあつて思いました。

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

煎餅の耳と落ち合いまとめ買い
解凍魚 一言いえば済む話
三日月をひっくり返す午前二時
背骨から寄せては返す波頭
裸木のここぞという時に出くわす

先月号の
お気に入り

院長の影がねばねばしています
ねばねばした影って・・・
岩根彰子

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

おはようと今日の課題が立ち上がる
舞い上がった分だけ落ちていく途中
ここまでの洗い晒しを捨てられぬ
耳鳴りも白内障もおともだち
目立たないように生きてても来る不運

先月号の
お気に入り

老化とは違う寒さのある岸边
米山明日歌
なんでもかんでも老化で括ってました。感性が鈍ります
ね。

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

根深ネギ白半分下剋上
手間暇かけた大根一本の重さ
時雨空アナタのために牛蒡掘る
喰って寝て何時の間にかクリスマス
丸リンゴ素手で割った亡父思う

先月号の
お気に入り

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

もと人魚今は魔女だという噂
魔女魔女と振ったオトコが言いふらす
約束は守らぬ赤いチューリップ
尼になど死んでもならぬ曼珠沙華
たましいは奪って返す熨斗付けて

先月号の
お気に入り

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

どうしても知者の墓には入れない
永田町を眼帯付けて杖ついて
真昼なのに一寸先は五里霧中
手を組んで天満月と睨めっこ
死ぬときは夜光時計があればいい

先月号の
お気に入り

道化師は夕陽を見過ぎ酸化した
岩根彰子
わたし（道化師）はロスで日本へ沈む夕陽を見過ぎて劣
化しました。

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

年老いた目刺しに残る太平洋
晩秋や落ち葉の洩らす独り言
純情をちぎって食べている女
ひれ酒は甘い女の味がする
あなたの毒をやっと一掃しましたよ

先月号の
お気に入り

もう少し生きたくなくて毒をのむ
米山明日歌
毒とは刺激ですかね？明日歌さんはどんな刺激が欲しい
のか？分量を間違えないようにね。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

電気代節約釜で炊くご飯
使いすぎですとブレーカーのストライキ
コンセント抜けば静かになる暮らし
昼夜逆転安くて高い電気代
そして母電気毛布を手離せず

先月号の
お気に入り

八月はとまとで生きる生かされる
吉田州花
我が家もとまとトマトで夏場を乗り切りました。

むさし【むさし・青森県蓬田村】

クールとは例えばモノの塗り直し
モアイ像の指を数えたことがある
古狸でも燃えないゴミでもありません
この月は縄文人も見つた月だ
鼻のない象に乗ってる軽業師

川柳忘年会

おかしょうき川柳社 2023



12月2日(土) 15時～ らいぶすてえじ ジパング(青森市本町)

▼出席者(14名)

ひらく・むさし・宮古中子・きさらぎ彼句吾・木村美映・高木まあこ・渡邊こあき・熊谷冬鼓・須藤しんのすけ・夏草ふぶき・Sin・田中薫・笹田隆志・滋野さち(当日欠席:小野五郎・守田啓子)

川柳忘年会2023

宿題『北』

青森県青森市

滋野さち選

【佳作】

硝煙の匂がしてる北隣

ひらく

ガザ北部スマートホンが潰された

小野五郎

眠剤ひとつ北枕のウインク

夏草ふぶき

ひと塩の男ひとり死んでゆく

笹田隆志

北^{ほくそえ}叟笑むたびに腐臭が強くなる

きさらぎ彼句吾

娘を思う母の指です北を指す

渡邊こあき

疎む朝白鳥が希望背負つて来た

田中薫

わきまえるの五段活用こは北

熊谷冬鼓

この切符もしか北国行きですか

高木まあこ

北を向くたばこはすでに焼け落ちて

木村美映

あたりまえじゃない涙が北に沈む

田中薫

北斎の目の色ムンクの空の色

むさし

抱擁の北限ここでいいですか

軸足が北ばかり向くので却下

北^{そむ}かれつづけて潮だまりの海月

北風に覗き込まれた舌の裏

北の空にはのどぼとけほどの穴

北国のくたびれかけた脚を拭く

こんな小さな妬みを北と仮定して

戦場の北へ檸檬の木を植える

【秀逸】

躓いて膝が淋しい雪原野

ここじゃないどこかに北を落とすたの

たまらなく抱かれたくなる龍飛崎

【特選】

玉ネギの北半球が晴れている

↑玉ネギの北半球なんて発想がとても楽しい。しかも晴れているのです。

小野五郎

夏草ふぶき

きさらぎ彼句吾

宮古中子

守田啓子

熊谷冬鼓

S i n

むさし

宮古中子

須藤しんのすけ

きさらぎ彼句吾

小野五郎

宿題『岸』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

岸辺露伴に覗かれる神のハラワタ
 岸柳の幹のうろから栗コロコロ
 この世の岸もあの世の岸もせわしない
 ちゃぶ台のまことしやかな向こう岸
 秋彼岸今年も亡母へ片使り
 シーグラス集めてつくる虹の橋
 対岸のお義父様から届く雲
 対岸に憧れている月見草
 ひよつとして岸から落ちる五分前
 リアス式海岸じゃないんだから踊りなさい
 タイムマシンが着岸してる後頭部
 政治家の首、首、首が此岸に並ぶ

きさらぎ彼句吾
 滋野さち
 むさし
 守田啓子
 渡邊こあき
 ひらく
 須藤しんのすけ
 渡邊こあき
 笹田隆志
 S i n
 むさし
 須藤しんのすけ

月へ行く舟の岸壁どこですか
 骨盤にピアノ1台流れ着く

でこぼこの岸辺に辿り着く鱗
 繰り返し岸に寄せるの君恋うる波
 結び目がほつれる土手が流される

綻びを広げぬ様に離岸する
 藻屑ゴロゴロ打ち寄せられたのはワタシ
 曖昧な私の岸にあるぬめり

【秀逸】

還らない海岸線の青い花
 アルミホイールに包んだ岸を渡される
 此岸にしがみつくと冬枯れの乳房

【特選】

鳥かごに鳥がいなくて湾に雪

▲ 空虚感や寂しさを言わずに語って巧い。

小野五郎
 小野五郎
 夏草ふぶき
 高木まあこ
 夏草ふぶき
 宮古中子
 きさらぎ彼句吾
 夏草ふぶき

滋野さち
 須藤しんのすけ
 きさらぎ彼句吾

滋野さち
 須藤しんのすけ
 きさらぎ彼句吾

守田啓子

宿題『自由詠』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

煮崩れた角煮ほろほろ師走来る
 爪だけが似て来てしまう冬牡丹
 許しても野あざみのトゲ刺さってる
 だから何？と言われて燃える花がある
 壁ドンを払いのける女の子
 ささいなことを大きな声で言うひとだ
 とごろ巻く丑三つ刻のバーボンと
 はみ出した部位にこぼれる月あかり
 蓋するかしないかそんな迷い方
 仏壇の奥は画廊になっている
 別れよう濃いめのブルース掛けてくれ
 ブレーキと池田大作を踏み間違える

夏草ふぶき
 宮古中子
 宮古中子
 木村美映
 須藤しんのすけ
 笹田隆志
 きさらぎ彼句吾
 熊谷冬鼓
 夏草ふぶき
 笹田隆志
 小野五郎
 S i n

はからずも不開の門を背負ってる
 敵を作らないと生きていけません
 豆腐むぎゆ返事が返らないあなた
 ソバの実の後れ毛ルビーレッドなの
 お土産がオウンゴールになつちまう
 おにぎりの海苔の黒さが怖くなる
 変数「私」に「父」を代入すればわかりやすい
 裏の沼地にハルマゲドンが落ちている

笹田隆志
 須藤しんのすけ
 夏草ふぶき
 小野五郎
 渡邊こあき
 守田啓子
 S i n
 小野五郎

小野五郎
 渡邊こあき
 守田啓子
 S i n
 小野五郎

【秀逸】

おっぱいの右も左も不発弾
 灯り消してゆくここからは小鳥語
 たまゆらたまゆら死なないものは死なないの

滋野さち
 きさらぎ彼句吾

【特選】

呼出状は月てにをはと出向く

▲ 「てにをは」と出向くって、どれほど悪いことをしたんだ？

きさらぎ彼句吾

席題『自由詠(四・四・六調)』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

ライクアバージン椎名林檎 須藤しんのすけ
まほろば祭りの忘年会 むさし
ピコピコピコピコ呼ばないでよ 渡邊こあき
婚姻離婚とひもづけます 田中 薫
雪雪こんな胸が寒い 滋野さち
可哀な雪の日今日のわたし 田中 薫
あなたと行けない桃源郷 高木まあこ
グラスへ移したロマンス詐欺 須藤しんのすけ
ゴスペル響かせ沼戦場 熊谷冬鼓

十和田たてがみ川柳会十一月句会

○日時 11月18日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・久保あざみ・佐藤まさあき・

瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳

○投句者 磯島雅男・斉藤蛙井・城後朱美

■席題『膝』 福田 芳記 選

【平抜き】

口喧嘩負けて女房に膝を折る 佐藤まさあき
おしつこと膝が気になるバス旅行 高田 幸柳
笑う膝騙し騙されついで行く 高田 幸柳
家中の子等が寄り添う母の膝 木村奈生美
ペンがない膝ポンの句が消えてゆく 村上 昌子
正論を吐けぬ空気に正す膝 木村奈生美
【秀逸】
立つ毎に膝をあやしてどっこいしょ 村上 昌子
ただ側に居るだけでいい妻の膝 瀧尻 善英

約束やくそく今日だけの 熊谷冬鼓

赤い血濃く濃く叫んでいる 田中 薫

抱いても抱いてもクマの背中 むさし

追伸 神さまご無事ですか 笹田隆志

積み木で作った仮の家族 夏草ふぶき

昨日の私落ちてました 渡邊こあき

吹雪が連れ去る暗殺団 夏草ふぶき

【秀逸】

京都を燃やして質にいれる 笹田隆志

吹雪よ逢わねば言えぬ言葉 滋野さち

ドア開け星座の機嫌みてる 宮古中子

【特選】

巣穴を壊して人になった 夏草ふぶき

『キレイゴトだけで人にはなれません』

【特選】

フィアンセが父の前では正す膝 佐藤まさあき

■席題『膝』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

フィアンセが父の前では正す膝 佐藤まさあき
同窓会膝を交えて久しぶり 福田 芳記
口喧嘩負けて女房に膝を折る 佐藤まさあき
古傷の膝を抱えている不満 木村奈生美
頂点で息をついたが膝笑う 佐藤まさあき
正論を吐けぬ空気に正す膝 木村奈生美
立つ毎に膝をあやしてどっこいしょ 村上 昌子
【秀逸】
家中の子等が寄り添う母の膝 木村奈生美
笑う膝騙し騙されついで行く 高田 幸柳
【特選】
さすがだな選句を聴いて膝を打つ 福田 芳記

■宿題 『ひよっこり』 高田 幸柳 選

【平抜き】

そつくりだひよっこり会った人違い
懐かしい旧友ひよっこり顔を見せ
整理してひよっこりと出たバブル銭
仕舞い風呂ひよっこり主婦の脱ぐ仮面
いつだってひよっこり来てた君恋し
忘れてた思いひよっこり苦笑い
クラス会ひよっこり出て来る変わり者
ひよっこりと戻った兄に身構える
家出した飼い猫ひよっこり帰宅する
また別の顔してやって来た変異
ひよっこりと覗く満月久しぶり

【秀逸】

瘡蓋を剥がせば真理顔を出す
つくしん坊ひよっこり顔出し春を告げ

【特選】

凍土からティラノの化石ガオと咆え

福田 芳記

斉藤 蛙井

磯島 雅男

木村奈生美

村上 昌子

久保あざみ

佐藤まさあき

城後 朱美

佐藤まさあき

瀧尻 善英

村上 昌子

瀧尻 善英

佐藤まさあき

瀧尻 善英

■宿題 『暇』 木村奈生美 選

【平抜き】

持て余す暇があるならボランティア
ヒマだけどニュースざわめき落ち着かず
手間暇を掛けてもてなす男メシ
心臓は暇なく動きありがとう
カレンダー予定入れれば気が紛れ
暇つぶしやがて日課になる老後
元気で暇を見つけて畑仕事
独り者手持ち無沙汰に鼻毛抜く
趣味の道体力気力金と暇
ジャラジャラと玉が出ている暇な人
毎日が休みで気まま年金者

【秀逸】

暇ができ自分探しの旅に出る
三刀流嫁妻母に暇はない

【特選】

なまけ癖機能すつきり暇を出す

高田 幸柳

村上 昌子

瀧尻 善英

斉藤 蛙井

村上 昌子

高田 幸柳

城後 朱美

佐藤まさあき

福田 芳記

佐藤まさあき

瀧尻 善英

斉藤 蛙井

城後 朱美

磯島 雅男

■宿題 『開く』 互選

- ① じよっぱりの意地が通れば開く花 瀧尻 善英
- ① 霽晴らす扉の向こう明日が来る 村上 昌子
- ① 雨男一緒にどうと開く傘 福田 芳記
- ② 秋の空心開いて散歩する 久保あざみ
- ③ 戦ない平和な扉開きたい 佐藤まさあき
- ③ 負うリスク覚悟で開けた玉手箱 高田 幸柳
- ③ 開こうよ笑い袋をワッハーハ 斉藤 蛙井

◆十和田たてがみ川柳会一月句会案内◆

【時】 1月20日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)返事『村上昌子選』『ペ
ン』佐藤まさあき選 【互選】(一句詠)『臍』当日出席
者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】一題(三句詠・
共選) / 選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名 【投句
先】 〒034-0212 十和田市米田字桜平72 高田幸柳宛

「チャレンジ川柳!
むさし流!」のブ
ログはこちら

おかじょうき川柳社ウェブサイトからの投句について

現在、おかじょうき川柳社のウェブサイトは、サーバー移転のため、一部サービスが使用できない状況となっております。

みなさんがよく使用する「投句ページ」もすべて Google フォームへ移行して対応しています。

ただ、投句された方から、「画像認証がうまくいなくて投句できない」という声が多く寄せられています。これは、ロボットによる大量投稿を防ぐためのセキュリティとして行われています。

画像認証が出てくる人と出ない人がいますので、下記の方法をいくつか試してください。

①「Google Chrome」でウェブサイトを開く。

Android のスマホだと標準で「Google Chrome」となっているため「ロボットではありません」のチェックで済むようですが、iPhone は標準が「Safari」になっているため、画像認証が出てくるようです。**iPhone の方は、右の QR コードから「Google Chrome」をインストール**してみてください。



② Google アカウントを作成する

iPhone の「Safari」を使用している場合、**Google アカウントを作成してログイン**すれば、画像認証は出てこなくなります。Google アカウントを作成しておけば、いろいろなサービスがありますので、作ってみてはいかがでしょうか。



③画像認証を突破する

画像認証は右の例でいうと、9つのタイルから自動車が映り込んでいるものを**すべて選択**します。なかには、ギリギリに映り込んでいるものもありますので、注意が必要です。ただ、**間違えても全然大丈夫**なので、それらしいものを選択して「確認」を何度か押してみれば突破できるはずですよ。



わかりにくい問題だった場合、ここで問題を変えれます

□ 2024.01.15 第12回卑弥呼の里誌上川柳大会

【投句締切】令和6年1月15日(月) 消印有効【課題・選者】(各題2句・投句用紙ありコピー可)『自由吟』浪越靖政・大西泰世/『まさか』中前棋人・樋口由紀子/『ふわり』平川柳・鈴木順子/『積む』もりともみち・木本朱夏/『色』横尾信雄・赤松ますみ【参加費】1000円(切手不可)発表誌呈(令和6年4月初旬発送予定)【投句先】〒842-0103 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲2426-2 卑弥呼の里川柳会 真島久美子宛 電話・FAX 0952-52-1061【賞】各題特選1句 有田焼/各題佳作5句 図書券(その他サプライズ賞)【主催】卑弥呼の里川柳会

□ 2024.01.21 第88回新春川柳句会

【日時】令和6年1月21日(日) 席題発表午前10時(9時受付開始)【会場】弘前プラザホテル(弘前市代官町101-1 Tel 0172-35-0345 弘前駅より10分)【会費】5,000円【宿題と選者】(各題2句詠・共選) 投句拝辞*採点 宿題・席題とも秀句3句=2点・佳作30句=1点『鍋』菊池京・三浦蒼鬼/『平凡』沢田百合子・むさし/『素晴らしい』北山まみどり・野沢省悟/『ガチャガチャ』熊谷冬鼓・長谷川酔月/『急ぐ』滋野さち・渡辺松風【席題と選者】(各題2句詠・共選)『 』岩崎真里子・田沢恒坊/『 』笹田かなえ・佐藤ぶんじ【我洲杯】(1句詠・5人共選)*採点 秀句1句=2点・佳作15句=1点『旗』吉見恵子・工藤まさひろ・白川莫・佐藤雅秀・太田久【賞】宿・席題合点により1位に紗光杯、2位に寿久杯、他20位まで/我洲杯3位まで 宿泊希望の方は1月15日までに 〒036-8227 弘前市桔梗野3-3-3 千島鉄男へ Tel 0172-34-3392【主催】弘前川柳社【後援】弘前文芸協会

□ 2024.03.29 '24 京都みんなの川柳誌上大会

【宿題(各題2句・未発表句に限る)】「線」岩田多佳子選(前年度優勝者・京都市)「そぞろ」齊尾くにこ選(鳥取県)「北」浪越靖政選(江別市)「挑む」みつ木もも花選(敦賀市)「突く」むさし選(青森県)【投句締切】令和6年3月29日(金) 必着【投句用紙】規定の用紙をご使用下さい(コピー可)【投句料】1,000円(定額小為替または現金、切手は不可)【発表】6月に作品集を郵送【賞】各題特選句と秀句2句に呈賞。成績を合点し上位から誌上大会実行委員会賞、福知山市長賞、福知山市文化協会賞、京都新聞賞、京都川柳作家協会賞を贈呈【投句先・問い合わせ先】〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町18 シオン6 中野六助方 京都みんなの川柳誌上大会事務局あて TEL.090-7107-2006【主催】京都みんなの川柳誌上大会実行委員会【共催】京都川柳作家協会

■会費拝受【11月受付分】 ※太字は新会員

横山キミエ・葉閑女(青森市) / 鈴木キユノ(外ヶ浜町) / 笹田かなえ(八戸市)

■おかげょうき川柳社会員募集中!

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名:おかげょうき川柳社

→会費:6,000円(1年分)

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

(〒039-3502 青森市久栗坂字浜田 87-2)

終着駅 Sin

◆明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈りします◆さて、今号は第28回杉野十佐一賞の発表号ということで、峯裕見子さんの「ばあちゃんが杖でつついて降らす雨」が大賞に輝きました。大賞おめでとうございます!今回は題が「雨」という、手垢がつきすぎて真っ黒になっているようなお題だった。このような発想が何周もしているようなお題の場合、「雨」という言葉自体に新しい定義をするより、「雨」は「雨」として、その周辺に付随する行動に付加価値をつけるような工夫が上手く機能した作品が上位にきている印象である。大賞作品は、小さい頃、豊富な知識でなんでも解決できていたおばあちゃんを本当に魔法使いだと思っていた郷愁感がある。その後、おばあちゃんの杖を拝借して、誰も見ていない場所で空をつつきながら、頭をかき上げる子どものかわい

い姿まで見えて、クスツとしてしまった◆準賞の吉松さんの「雨するか雨しないかを決めなさい」も「雨」を動詞的に使うさすの仕立てだった。ただ、逆に何でも当てはめられちゃうための、読者が(何がいいかな?)と一生懸命、考え始めるもの、キリがないから諦めよ、でも面白い句、という票だったのかなと。このへんが「雨」という題の難しさなのかもと感じたところである◆年末の川柳忘年会2023、実験的に初めて句箋を使わずに席題をしてみた。みなさん、それぞれのスマホでQRコードを読み取り、そのフォームから投句。集まった句を選者の私がスマホで確認し、そのままスマホのエクセルで選考作業して、そのスマホを見ながら披講といった流れである。やってみて、選考側がちょっと大変だったので、まだまだ工夫が必要だが、今年もどこかでまた挑戦してみたい◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2024.1.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(3月号分)

【締切】1月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】3/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com
守田啓子宛



□ 2024.02.03 おかげょうき川柳社本社2月句会

【時】2月3日(土)午後1時~【所】アウガ5階小会議室【投句締切】2月2日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『キャリア』/『志』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『筋トレ』1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.02.14 「川柳吟行会 ぼ」2月句会

【投句締切】2月14日(第2水曜日)【題・投句数】『握る』2句【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛



□ 2024.2.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(4月号分)

【締切】2月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】4/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com
守田啓子宛



花束を抱えて真昼野にひとり血塗れ無言で回る洗濯機あらかたの運は使った寝違えの百萬遍叶ぬがかり人待ちながら桜の幹に触れている

爆撃機何かも失くしたような青い空一人ぼたちを責めて一人づつ私はずっと私ですコンビの外まで届かない明かり曇りのち暗れのあとで

ない街角医療ミス現場で読んだ週刊誌誰ですか山手に石を投げるのは行く先は決めた真ん中で歩くと太陽光で僕宛の電話が来た

見ました何もかも寒い夏だよ鶴形ならいづれは月が秋のどしどし泣いてゆく着地せよ人間風と手を切つて水吞んで

生れ生れそでと揺らしますだから黙つてフェリー埠頭に雪じとしていれば夕陽にたまたま性愛や咄の音を引き摺って芳一の



おかじょうき川柳社

http://okajoki.com/

2024年1月10日発行(年12回発行) 第28巻1号通巻358号
●発行人/むさし●編集/Sin●発行/おかじょうき川柳社●表紙題字/金子榮風
青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田中師宮本2の3 ●E-Mail:info@okajoki.com